

(様式第1号)

議会報告会実施報告書

都城市議会議長 へ

令和6年2月5日

都城市議会「議会報告会」開催要項10(1)の規定により報告します。

開催日時	令和6年1月17日(水) 12時00分～13時35分			
開催場所・開催方法	本会議場・YouTubeによるオンライン配信			
出席議員	長内慎悟(一般社団法人地方公共団体政策支援機構)、樋口龍馬(四日市市議会議長)、谷口周司(四日市市議会副議長)、辻裕登、今村厚美(四日市市議会議員) 長友潤治、徳留八郎、中村千佐江、神脇清照、綿屋善明、黒木優一、森りえ、別府英樹、坂本唱子、成合円美佳、赤塚隆志、筒井紀夫、榎木智幸、中田悟、川内賢幸、楠見千穂子、佐藤紀子、岩元弘樹、音堅良一、杉村義秀、小玉忠宏、江内谷満義			
役割分担	班 長		報告者	中村
	司会進行	長内アドバイザー	記録者	
参加人数	27名(都城市議会22名、四日市市議会4名、長内アドバイザー)			
経過記録	開 会 (12時00分) 議会報告 (12時05分～50分、12時55分～13時20分) 質疑応答 (12時50分～55分、13時20分～30分) 閉 会 (13時35分)			
議会報告の概要 (主な質問・意見・要望等及び答弁)	YouTubeの市議会公式チャンネルにてオンラインで開催した。 議場にて、議員22名が一斉に参加した。午前中、視察に訪れていた四日市市議会のみなさまにもゲスト出演いただき、4名の議員が議場に着座された。なお、他4名の議員は、傍聴席にて傍聴された。 他の傍聴者は、一般市民が一名であった。 冒頭、議長挨拶。 続けて、長内アドバイザーによる本日の流れの説明。 4常任委員会、議運、広報と議会改革特別委員会の計7委員会の活動について、長内アドバイザーとのインタビュー形式で報告を行った。 コメントで寄せられたご意見に対して回答する質疑応答タイムを、報告の途中と、最後との2回に分けて設けた。 インタビューや、質疑応答の中で、四日市市の取組について話を振る場面もあり、四日市市の取組に対するコメントも寄せられた。 最後に副議長挨拶。2月15日発行の議会だよりの案内とアンケート回答へ			

	<p>のお願いを行った。</p>
<p>意見交換の概要 (主な質問・意見・要望等 及び答弁)</p>	<p><感想></p> <p>○見えています。良いですね。</p> <p>○四日市市議会の皆さんとのやり取りすごく良いですね。良いところを学べて。</p> <p>○都城駅がどうなるのか気になる！</p> <p><質問・要望等></p> <p>○(市営住宅の) 部屋を借りたいが、古くて暗い。 →【建設委員会・榎木委員】</p> <p>昨年、建設委員会で全ての(特に古い)住宅の視察を行って、リフォームできるものはリニューアルしていく方向で、少なくとも古いものについては解体で確認している。古いものは今後少なくなっていく。</p> <p>○今回の議会報告会、面白く視聴していますが、技術的・物理的に視聴できない人への対応は？ →【広報広聴委員会・中村委員長】</p> <p>視聴できない人がいることは想している。議会だよりを使って、オンラインでは視聴できない人からの意見徴収や報告はカバーしている。コロナ禍で開催できない年が続いて、どうにか開催するためのオンライン開催という方法であるが、今後、傍聴者を増やすことや、出張してのオンライン開催などの方法を検討していくべきと考えている。</p> <p>○四日市市議会の高校生議会おもしろそう。都城もやってみては？ →【四日市市議会・樋口議長】</p> <p>高校生議会はインターネットで配信するので、ご視聴いただきたい。都城市議会で採用されればお手伝いします。</p> <p>○明かりが暗く、夜道が怖い。 →【成合議員】</p> <p>防犯灯は、自治公民館で設置費用、維持管理費用を負担している。市は補助をしている状況。自治会の加入率が50%前後の状況を鑑みる必要がある。 →【建設委員会・赤塚委員長】</p> <p>本市の市営住宅には、簡易平屋住宅のものが多く、明かりが足りていないとは考えられる。今後、平屋は廃止され、集合住宅に建て替えられる際には、採光も考慮される。</p> <p>○市営住宅は、住宅政策の課題と連携して考えるべきでは。 →【建設委員会・榎木委員】</p>

	<p>市営住宅の本来の目的は、生活困窮者への救済といった面がある。民間との需要とバランスが考慮されるよう市に提言していく。</p> <p>○議会報告も大事ですが、実際に対面しての意見交換することはとても大事だと思います。</p> <p>→【広報広聴委員会・中村委員長】</p> <p>5名以上の団体からのお申込みにより、意見交換会を直接対面で開催している。高校生との意見交換や、各種団体との意見交換も行っているところである。</p>
<p>その他 (今後の課題・感想等)</p>	<p>○zoomを活用することで、全議員を画面に登場させるという前年度の課題を克服できた。</p> <p>○前年度より視聴回数伸びが良い。長内講師による同業へのご案内が特に後押ししているのではないかと考える。</p> <p>○質問に回答したりやり取りしたりする時間が足りないと感じた。</p> <p>○アンケートは、Google フォームではあまり回収できなかった。</p> <p>○傍聴者を入れる、または発言してもらおう、ハイブリッド開催について、前向きに検討する余地がある。委員内からも、市民からも要望がある。ただし、要望について発言した委員は、自ら主体的に取り組むべき。</p>